

# 第36回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【男子2回戦】 A球場(松山中央公園北) 第2試合 重信中学校(愛媛県) VS 諫早高附属中学校(長崎県)

## 試合巧者重信中 小技・走塁に抜かりなし!!

諫早高附属中 7回粘りの攻撃も追いつかず惜敗!



<重信中 先制タイムリー三塁打を打った坂本選手>



<諫早高附属中 粘り強く投げる エース吉田投手>

平成26年8月20日(水) 11:14 ~ 13:09 球審:白石 一塁:曾根 二塁:緋田 三塁:三瀬

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
諫早高附属中学校(長崎県)	0	0	0	0	0	0	3			3
重信中学校(愛媛県)	0	0	2	3	1	0	X			6

【バッテリー】

<先攻>(諫) ●吉田 祐人 - 白石 航也

<後攻>(重) ○八木 琢磨、重見 颯真、参田 光、八木 琢磨 - 太田 篤志

【長打】

<本塁打>

<三塁打> 坂本 雄亮(重)、岡 奨斗(諫)

<二塁打>

【戦評】

重信中は、3回2死1・2塁のチャンスに4番坂本がフェンスにワンバウンドであたる走者一掃の弾丸スリーベースを放ち、2点先制。4回無死2・3塁から8番吉良が叩きつけた打球をショートがはじく間に3点目。続く9番重見がセンター前にしぶとく運び4点目。1番太田も三遊間に叩きつけ、ショートのグラブをはじき5点目が入った。長打は4番坂本の1本だけ。強く速い打球を打ち、走塁にもそつがなく、常に次の塁を狙っている。攻めの重信ここにあり!!

諫早附属中は、7回無死2・3塁から9番小無田の打席でパスボールで1点。小無田がしぶとくセンター前に打ち返し、さらに2点をもぎとった。守りに大きなミスはない。試合巧者重信中に押し切られ、さわやかに散った。

【勝者インタビュー】

監督談

相手投手の低めの球を見きわめて、ゴロを打つように指示をしていた。選手は指示通りのバッティングで攻略してくれた。最後は少しバタバタしてしまったが、反省して、準決勝に臨みたい。

主将談

チームの約束事を守り、先制できたことでみんながリズムに乗れた。次戦の上分中は四国大会の再戦となるし、相手も調子が良さそうなので、負けないように頑張りたい。

若人よ 蒼き四国で熱くなれ!